



後期研修 修理現場（姫路城大天守）

会報

全国文化財壁技術保存会

第 14 号

平成二十六年（二〇四）年三月二〇日発行
 編集 全国文化財壁技術保存会
 発行 愛知県江南市力長町 大当寺二八
 事務局
 TEL (〇五八七) 五九一八〇〇〇

会長 佐藤治男



会報の発行にあたり、一言申し述べます。

当会の現状を考えると、会の運営に携わっている者としては、種々考えておかねばならない事があると思っています。

アベノミクスとかで業界は活況を呈しておりますが、我々壁保存会では若手技能者の養成は

国の助成を受け、ぼちぼち成果らしきものが見られると考えられますが、資材・資料の領域までには、まだ道は遠いように思います。

当会は、文化財建造物の左官工事の修復を後世に伝え遺すために発足した団体です。本真物を遺すために現場では、関連各種の方々と協力して事に当たり、現場管理者と相談の上施工するようにしています。厳寒期の荒壁塗りは絶対に控えて頂きたいこと、また壁工事は各地によりローカル色があり材料・工法共に異なる場合がありますので、監理者は充分に考えて頂きたい事などです。

私見ではありますが、各地の登録文化財や伝統的建造物群保存地区で修復工事が行われていますが、なかにはイベント用としか考えられない施工や、阪神・淡路大震災で無事被害を免

れた洋風建築や京都の由緒ある学校が解体されると見聞きしています。実に嘆かわしい事です。

そこで我々会員が率先して未来に亘って保存すべき建造物を、文化財修理技術保存連盟の皆様方とともに掘り起こしていきたいと考え、日々の活動に心掛けたいと思っております。

副会長 安達保信



昨年も当会に多大の御指導、ご支援賜りました行政各位様及び、関係の諸先生に厚く御礼申し上げます。又当会員各位に於いてもご協力いただき、益々活発に活動致しています。

平成25年度も事業計画通り5月に総会を催し多数の出席を得、中級試験合格者の表彰も行いました。そして6月8、9、10日に二期目の中級筆記試験を行いました。合格者の皆様は将来文化財修理の指導者として期待されます。

そして伝承者養成技術研修会の普通講座も、前期を9月2日～7日、後期を11月4日～9日迄と滞りなく実施し、会員の皆様の協力を感じます。特に11月8日に姫路城の見学で左官工事として漆喰塗が立派に完成された事、嬉しく思うものです。

今後の会の方針として研修内容では、各地で増加する登録文化財の修理に必要な技術として明治、大正期の建造物で特に洋風の漆喰蛇腹仕事や赤煉瓦造の技術等々、勉強する作業が多くあり、今伝承しなければ跡絶える危機があります。早急に実施

しなければなりません。会員一致して取り組みましょう。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



第21期(平成25年度)総会

平成25年5月12日に京都市で第21期定期総会を行いました。

来賓には、(公財)全国国宝重要文化財所有者連盟事務局長の後藤佐雅夫様、京都府教育庁指導部文化財保護課副課長の鶴岡典慶様、姫路市立城郭研究室専門員の上田耕三様にご出席を頂きました。平成24年度の事業報告及び収支報告、25年度の事業計画及び収支予算案の審議を行い、原案のとおり承認されました。



研修生 修了証授与



総会の開催

左官(日本壁)伝承者 中級技能試験

左官(日本壁)伝承者養成中級研修(筆記試験)を、平成25年6月8日～10日の3日間に渡り、研修生12名について行いました。文化財に携わる上での考え方、文化財に関する法律、修理現場の施工例などからの対応策を学ぶ講義を行った後、各講義内容より出題する筆記試験を行いました。



講義



試験



講義

子ども漆喰塗り体験会

姫路城の特徴を代表する漆喰を子ども達に体感してもらい、伝統左官技術を身近に知っていただくため夏休みに、保存会と姫路市の共催事業として開催しました。

8月4日午前、姫路城三の丸広場にて60名の子どもたちが、保存会会員の指導の下、漆喰塗りを体験しました。会員の皆様有難うございました。



指導いただいた会員の皆さん



ふれてみよう 文化財を守り続けてきた匠の技

文化財保存技術を有する全国の保存団体が、文化庁主催により、平成25年10月26・27日、福島県会津若松市において「普段見られない技の数々、会津に集まる」として一同に会し、開催されました。

本会は、活動状況のパネルや左官材料・道具などの展示を行うとともに、会員が説明にあたりました。



文化財建造物保存活用 公開セミナー(京都市)

平成25年11月2・3日、京都市文化財建造物保存技術研修センターと清水寺にて「文化財建造物保存活用公開セミナー」が、全国社寺等屋根工事技術保存会の主催で開催されました。本会は木舞掻き実演・体験、左官材料や活動状況の展示を行い、伝統左官技術の理解を深めていただく機会となりました。



左官(日本壁)伝承者養成 技術研修会(普通講座)

文化財壁技術の継承を図るため「左官(日本壁)伝承者養成研修会(普通講座)」を、平成23年の基礎講座受講生5名を対象に行いました。前期は平成25年9月2日～7日で、愛知県江南市の中島左官(株)事務所及び作業所、そして富山県に移動し射水市他で行いました。

愛知県教育委員会文化財保護課の牧謙治様、名古屋市歴史まちづくり推進室の永原誠様、NPO法人犬山城下町を守る会の長谷川良夫様より講義をいただきました。

実技は、大津壁の材料拵え及び塗りを行いました。そして勝興寺(富山県高岡市)の保存修理現場を見学し、富山県射水市に移動、田村京子様に鍍絵の案内をいただきました。さらに石

崎勝紀様の指導により、鍍絵を研修生一同制作しました。

後期は、11月4日～9日に行いました。高知県南国市の北村石灰製造工場を見学し、中脇修身様による土佐漆喰の講義を受けました。そして松本勉様の指導の下、土佐漆喰塗りの実技を行いました。また土佐漆喰製造工場の(株)栗田商店を見学いたしました。香川県に移動し、博物館四国村みろく自然公園で、文化財建造物を見学しました。

姫路市に移動し、(株)山脇組の作業場において安達保信様の指導で赤漆喰・黒漆喰塗りの実技を行いました。また姫路市立城郭研究室の上田耕三様より、姫路城保存修理の講義を受けた後、姫路城修理現場の見学を行いました。引き続き、文化庁文化財調査官の西山和宏様より文化庁行政の講義をしていただき、前期・後期の研修を終えました。



材料こしらえ



講義



大津壁塗り実技



大津壁塗り実技



勝興寺修理現場見学



勝興寺修理現場見学



鰻絵 竹内源造記念館見学



前期研修



町中の鰻絵



鰻絵 見学



鰻絵作品



鰻絵製作



土佐 消石灰製造工場見学



講義 土佐漆喰



姫路城大天守修理現場見学



講義 姫路城の修理



講義 文化財行政



姫路城西の丸修理現場見学



赤、黒漆喰塗り実技



材料こしらえ



後期研修



赤、黒漆喰塗り実技

研修を終えて 平成25年度研修生の感想

◆足立 純

今回、9月と11月の研修では、たくさんの事を体験させて頂きました。

9月の研修では大津磨き、鏝絵、11月の研修では土佐漆喰、赤漆喰・黒漆喰の磨きを勉強させて頂きました。普段、話には聞きますが、実際に自分で行うことができ、自分の中では貴重な経験となりました。どの伝統工法においても一番重要なのは水引を見極めることと、塗り付けを如何に斑なく行うかという事だと感じました。

この経験を今後にも生かしていきたいと思います。有難うございました。

(足立組)

◆ 笹原 剛

この度は、伝承者養成研修会という事で色々なことを学ばせて頂き、各先生方にこの場をお借りしてお礼を言わせて頂きたいと思えます。本当にありがとうございます。

まず前期の講義では、何と言っても並大津の実技講習が一番の勉強になりました。材料の配合からノロの塗り付けのタイミングまで難しいことばかりでしたが、次の現場に生かせそうな事ばかりなので、なるほどと思って覚えて、次の肥やしになるとても有意義な講義でした。

鍍絵の講義では、石崎先生に事細かに教えて頂き、鍍絵の難しさを知る良い機会になりました。目の先では細かくやりすぎて、つるつとすぎる傾向になりがちだそうですが、あえて粗く作る事により、光のコントラストによってよ

り立体的に見えるという事を知ることができました。

後期の講義は、中脇先生による土佐漆喰についての講義と松本先生による実技での講義がとても勉強になりました。最近では土佐漆喰という材料も全国的に有名になり、東京あたりでも、施主の要望で現場の仕上げに採用されることがあります。ですが実際に塗るとなると、これがまたとても扱いづらい材料でとても苦労しています。今回の講義でも大変苦労しましたが、松本先生に直に教わることで、少しは自分なりに収穫がありました。また自分で練習してみても上手く塗れるようになってみたいと思う、とても楽しい材料でした。

五日目は西山先生による文化財保存修理技術事業と行政の講義がありました。その講義の話の中で一つ気になることがありました。我々は文化財のなかの壁を作る仕

事をしていますが、その中で文化財における壁の役割と言いますか、壁が占める重要度と言いますか、正直がっかりする話がありました。文化財の中で、耐震ベニヤが採用されやすいという話のところでは、我々左官屋は、ただ壁を塗る技術を磨くのも大事ですが、それよりも土壁は強いんだという事を証明するのが一番大事な事なのではないかと今回考えさせられました。証明する為に技術を磨くことも大事なことです。

最後になりますが、この度三年にわたり伝承者養成技術研修会に参加させて頂きましたが、改めて自分の技術の未熟さを知り、また、良い勉強になりました。各先生方、どうもありがとうございました。今回の研修で学んだことを必ずこれからの左官人生に生かし、この研修は無駄にはならなかったのだという事を各先生方に証明できるように、これからの現場で精進して

いきたいと思っています。

(株)あじま左官工芸

◆ 中田 一真

佐藤会長をはじめ、お世話になった講師の方、ありがとうございます。

9月、11月と研修会に参加し、色々勉強させて頂きました。大津壁、鍍絵、土佐漆喰、赤、黒漆喰磨きと普段はしないことばかりを教えて頂き、大変良い経験になりました。この普通講座で習ったことを自分の時間がもてたときに材料こしらえからやってみたいと思います。

最初から上手くいくとは思いませんが、自分なりに教えて頂いたことを忘れず、いつかあるかもしれないこの先の仕事にフィードバックできるように試行錯誤を重ね、自分なりの材料、手法などを考えたいと思います。

古来からの材料、手法などに沿ったもので、自分ができる範囲のものができるよう頑張ります。

普通講座前期・後期ともに大変良い経験になりました。ありがとうございました。

(㈱イスルギ)

◆野村智広

高知では土佐漆喰の製造所を見学させて頂きました。石灰原石が土佐漆喰として製品になるまでの手間と時間は容易なものではなく、そこに込められた職人さんたちの想いを感じました。基礎講座の時に、鋺・土・苳の製造所を見学した時も同様に感じたことですが、左官の仕事は様々な仕事の上に成り立っていて、左官は作り手の想いを現場で果たす責任があつて、常にありがたみを持つべきだと思います。

また、文化財修復現場に使われ

ている材料や道具や技術は、長年に亘って試行錯誤を繰り返して成されてきたものです。そのことに

誇りを感じて仕事にあたるのが文化財修復に携わる左官の心構えとして大事だと思いました。そして先人から知識や技術を学び、自分自身でよく研究し高めていくことが何より重要だと思いました。

名古屋、富山、高知、姫路にて

研修し、それぞれの地域特有の仕事があることを改めて感じました。京都と異なる気候、風土の中で左官仕事がどうなされてきたかを知ることが興味深いことでした。日頃見ることができない場所で貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。実技においても、大津磨き、鋺絵、土佐漆喰磨き、普通漆喰磨きを勉強させてもらい感謝しています。お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

この研修で教わったこと、感じ

たことを今後の仕事に生かしていきたいと思っています。

(佐藤左官工業所)

◆細江洋平

この度の研修会を受け、自分なりに文化財建造物の修復工事をするにあたって今まで以上に誇りと覚悟が持てるようになりました。

研修会では、初めて体験する実技もあり、良い勉強になりました。

この三年間の研修を終え、自分なりに知識と技術を得て、成長できたのではないかと思います。今後それを生かし、今まで以上に良い職人を目指して頑張りたいです。

役員の方々、講師の方々、そして研修生の方々、三年間お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

(中島左官㈱)

編集だより

今年度も予定どおり会報を発行でき、ほつとすると同時に、原稿を執筆いただいた皆様方に御礼申し上げます。今回は近年新たに始めました中級試験の学科の様子を掲載することができました。また、姫路市との八回目の共催事業「子ども漆喰塗り体験会」を三年ぶりに開催でき、掲載できました。また研修生の皆さんからは、貴重な感想をいただきました。会長、副会長からのメッセージなど、多様な情報や思いを寄せていただき、多様な紙面になったことに感謝いたします。事務局の佐野様にはデータ提供・校正等、ご尽力を頂きました。改めて御礼申し上げます。

(編集事務局)

姫路市立城郭研究室 上田耕三、

事務局 中嶋正雄)

会 員 名 簿

	会 員 名	住 所	事業所名等
正 会 員	佐 藤 治 男	京都市左京区下鴨南茶ノ木町23-4	左 官 業 佐 藤
	安 達 保 信	京都市下京区花屋町通り間の町西入る天神町411-2	(有) 安 達 左 官 店
	中 嶋 正 雄	愛知県江南市力長町大当寺128	中 島 左 官 (株)
	田 代 益 市	京都市下京区猪熊通り塩小路下がる上夷町165	(有) 田 代 千 治 店
	石 田 貞 男	さぬき市大川町富田中2147	石 田 左 官 工 業
	小 林 錦四郎	和歌山県有田郡湯浅町湯浅2132-17	小 林 左 官 店
	津 田 誠 一	大津市下阪本1丁目20-22	(有) 津田左官工業所
	山 脇 一 夫	姫路市飯田1-24	(株) 山 脇 組
	浅 原 雄 三	京都市山科区大宅沢町185	(株) しっくい浅原
	片 田 儀 斎	京都市上京区西洞院通中立売下る菊屋町256	片田儀斎営業所
	本 田 俊 之	大阪府寝屋川市高柳2丁目43-13	本田左官工業所
	松 本 勉	高知県安芸市井ノ口乙 1202-3	(有) 左官 松本組
	阿 嶋 一 浩	東京都葛飾区青戸8丁目19-11	(株) あじま左官工芸
	小 迫 傳	鹿児島県出水郡長島蔵之元3246の1	小 迫 左 工
準 会 員	足 立 三喜男	兵庫県三木市緑が丘町東1-3-4	足 立 組
	石 動 信 明	石川県金沢市神田1丁目31番1号	(株) イ ス ル ギ
	桑 路 丸 幸	兵庫県神崎郡市川町沢115-2	桑 路 建 塗 (株)
	小 林 常 司	京都市中京区東洞院蛸薬師下る元竹田町639-11	左 司
	木 津 恵 雄	京都市東山区古門前通り大和大路東入る二丁目三吉町344	木 津 工 業 所
	加 藤 正 幸	三重県伊賀市東高倉2380-11	しゃかんかとう屋
	太 田 勝 之	香川県三豊市豊中町笠田笠岡3156-3	太 田 左 官
賛 助 会 員	中 内 庸 司	京都市上京区浄福寺中立売上る東西俵屋町157	中 内 建 材 店
	宮 谷 邦 夫	兵庫県三木市別所町朝日ヶ丘35番地の69	宮 谷 製 作 所
	村 檉 太 郎	栃木県佐野市宮下町1番10号	村檉石灰工業(株)
	北 野 一 成	大阪府堺市中区深井北町104-2	(株) 北 正 商 店
	吉 田 鐵太郎	千葉県いすみ市岩船196	(株) 吉田鉄五郎商店

